

豊島区みどりの基本計画策定委員会

第 2 回策定委員会でのご意見を踏まえた主な検討事項

■インクルーシブの考え方

- 基本理念の中に、「五感にうったえる」という理念を大事にしながら、インクルーシブの考え方を反映したい
- 障害のある方への配慮、外国人との多文化共生など、インクルーシブの概念を盛り込む
⇒ 基本理念、及び基本方針にインクルーシブ、トイレの多機能化、バリアフリー、ジェンダーへの配慮などを追加する

■キーワードづくり

- 「公園がまちを変える」に続くキーワードがあると良い
⇒ 豊島区みどりの基本計画における特徴的なキーワードを検討する

■みどりとの関わりの目標

- 新たな目標「みどりの活動場所を増やします」の評価方法の検討
⇒ 場所を基本として、回数についても考慮し、目標値、評価方法について検討する

■公園の再整備箇所数

- 公園再整備の目標基準（年間 2 箇所以上）の検討
⇒ 箇所数の目標の検証、愛着につながる再整備の手法（地域の人の参加による植樹など）を検討する

■みどりのネットワーク図・将来ネットワーク図

- 理論上のみどりのネットワークをどのように実際につなげるかが重要
⇒ 広域的なみどりのつながりの他、身近な公園などのみどりをつなげる具体的イメージ、様々なつながり（生き物、人と人：活動のネットワークなど）の充実化について検討する

■緑化活動の推進

- 緑化活動に参加しやすい仕組みづくりと、大学が多い豊島区の特徴を活かした活動の推進
⇒ 動機づけとなる学生の活動を紹介し、区民や企業、大学等が連携して参加できる仕組みづくりを進めるために、地域別方針で検討する

■（仮称）パーク・グリーンインフラの取組イメージ

- 区民全体、様々な世代を対象として、取組のイメージを図示したい
⇒ 学生、高齢者、農福連携、福祉など様々な多世代の方々が関わる利活用のアイデアを検討する

■公共的空間の充実

- 民間が整備する公開空地など、公園整備以外の民間の緑化による、一般の方が使えるみどり空間の整備を指標とする目標があると良い
⇒ 公民連携などによる、新しい公共的空間の指標を検討する

■街路樹の管理

- 質の高い樹木管理を行うために、エリアごとの管理などを検討した方が良い
⇒ エリアごとの管理は一部で実施済み。全体では予算及び業者選定方法など十分な検討が必要
- まずは老木化した樹木の処置や更新を行うための街路樹診断の実施などの導入検討を行い施策に反映する

■植樹（関連事業：グリーンとしま再生プロジェクト）

- 豊島区で生まれた種や公園の実生を、区民が里親となって育成し、公園で植樹するプロジェクトの提案
⇒ 地域への愛着につながる、みどりとの関わりの施策を検討する

■区民の活動

- みどりとの関わりを広げる公園での苗等の交換会（グリーンマーケット）を行ってはどうか
⇒ 施策として検討する
- 区民の積極的な活動を支援し、みどりを通じて人との縁をつなぐことを意識した施策
⇒ 育樹など、区民自ら積極的に行っている活動の事例を示す
- 縁をつなぐ“公園の園結び”、“共育”などのようなネーミングを考える

■アプリの活用

- どの世代も参加しやすい、情報を得やすい媒体があると良い（写真投稿によるイベントへの参加、公園のスケジュール確認・予約などのできるオリジナルアプリの開発）
⇒ 公園の情報やみどりの活動内容の情報共有とアプリ運用の対応を検討する

■その他

- 公園の利用規制⇒子供の遊びを大切にする視点を踏まえる
- 公園の樹木の種類⇒防災機能と景観（地域毎の個性）への配慮のバランスが重要である